

- 問1 フランスがEU最大の農業国として、他のヨーロッパ諸国を上回る規模で小麦の生産を行える地理的な背景や特徴について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. アルプス山脈の急峻な地形を利用し、段々畑での集約的な生産が行われているため。 | 2. 国土の大部分が干拓地であり、高度な灌漑設備を用いた施設園芸が主流であるため。 | 3. 広大な平原を利用して、大型機械を導入した大規模な畑作が行われているため。 | 4. 全土が地中海性気候に属しており、夏の乾燥を利用した小麦栽培に特化しているため。 |
|---|---|---|--|
- 問2 ヨーロッパの気候を形成する要因について、その仕組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 暖流である北大西洋海流の影響を受けた暖かい空気が、偏西風によって大陸に運ばれるため、緯度のわりに温暖になる。 | 2. 暖流である黒潮がヨーロッパ近海まで到達しており、大西洋から吹くつける偏西風がその熱を大陸の奥深くまで届けている。 | 3. 寒流である北大西洋海流の影響で大気が冷やされるが、大陸から吹く季節風が暖かい空気を運ぶため、冬の寒さが緩和される。 | 4. 赤道付近から北上する暖流と、極地方から南下する寒流がヨーロッパ西岸でぶつかり、その上昇気流を偏西風がとらえることで温暖になる。 |
|---|---|--|--|
- 問3 ヨーロッパにおける環境・エネルギー政策に関連して、アイスランドやイタリアで広く普及している「地熱発電」の説明として、その背景や分類を含めた記述として最も適切なものはどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. アルプス山脈などの急峻な地形と豊富な降水量を活かしており、天候に左右されやすい再生可能エネルギーの一つである。 | 2. 偏西風が強く吹く北海沿岸の気候を活かしており、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーの一つである。 | 3. 火山が集中する地域の熱エネルギーを利用しており、二酸化炭素の排出が少ない再生可能エネルギーの一つである。 | 4. 地中海沿岸の乾燥した気候と強い日差しを活かしており、枯渇する恐れがある化石燃料の一つである。 |
|--|--|---|---|
- 問4 ヨーロッパ州の北西部は高緯度に位置していますが、同緯度の他地域である北アメリカ大陸北東部などと比較して、冬でも気候が温暖であるという特徴があります。この要因となっている、北米東岸からヨーロッパ方面へ流れる暖流と、その上空を一年中吹いている恒常風の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------------|---------------|--------------|
| 1. 親潮と偏西風 | 2. 北大西洋海流と季節風 | 3. 北大西洋海流と偏西風 | 4. リマン海流と偏西風 |
|-----------|---------------|---------------|--------------|
- 問5 ヨーロッパ北西部で広く行われている、小麦やライ麦などの穀物栽培と、牛や豚などの家畜の飼育を有機的に組み合わせて行う農業形態を何といいますか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|-------|-----------|
| 1. 酪農 | 2. 混合農業 | 3. 移牧 | 4. 地中海式農業 |
|-------|---------|-------|-----------|
- 問6 ノルウェーの沿岸部に見られる、かつて厚い氷の塊が移動しながら地表面を削り取り、その谷間に海水が深く入り込むことで形成された複雑な地形を何と呼びますか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|--------|----------|
| 1. カルスト地形 | 2. リアス海岸 | 3. 三角州 | 4. フィヨルド |
|-----------|----------|--------|----------|
- 問7 地中海の北側に位置するイタリア半島やフランスなどの周辺に広がるアルプス山脈の地形的特徴について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 非常に古い時代に形成された山脈であり、長年の侵食によって全体的になだらかな地形となっている。 | 2. 安定陸塊と呼ばれる非常に古い地層の上にあり、地震や火山活動が全く見られない広大な平原である。 | 3. 石炭の埋蔵量が多く、大規模な炭田開発が行われてきた標高の低い山脈である。 | 4. プレートの運動によって形成された比較的新しい山脈であり、高く鋭い山頂が連なっている。 |
|---|---|---|---|
- 問8 欧州連合（EU）が抱える現在の課題について述べた文として、背景や実態を正しく説明しているものはどれか、次の中から選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 加盟国間の経済格差をなくすため、すべての加盟国で農業を廃止し、工業に特化する政策が進められている。 | 2. 加盟国の総面積がアメリカ合衆国や中国の面積を大きく上回ったため、広大な領土の防衛費が財政を圧迫している。 | 3. 加盟国間での産業発展の度合いや生活水準の格差が広がっており、その格差の是正が大きな課題となっている。 | 4. 全ての加盟国が共通通貨ユーロを強制的に導入させられた結果、物価の急騰が深刻な問題となっている。 |
|--|---|---|--|
- 問9 EUの拡大にともなう課題を説明した次の文のうち、イギリスがEU離脱を決断した背景にある、社会的な要因と文化的な要因をまとめたものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|-------------------------------------|--|
| 1. 域内からの移民の流入が急増したことへの不満や、自国の伝統や文化が損なわれることへの懸念 | 2. 共通通貨ユーロの導入により、自国の金融政策が自由に行えなくなったことへの反発 | 3. 農産物の輸入自由化によって、国内の農業が壊滅的な打撃を受けたこと | 4. 周辺諸国との領土問題が解決せず、安全保障上の不安が解消されなかったこと |
|--|---|-------------------------------------|--|
- 問10 アルプス山脈が東西に連なり、ライン川などの国際河川が流れる地域で、多くの国がEU（欧州連合）を結成して経済的・政治的な結びつきを強めている州はどこか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 1. アジア州 | 2. 北アメリカ州 | 3. アフリカ州 | 4. ヨーロッパ州 |
|---------|-----------|----------|-----------|
- 問11 EU加盟国の経済状況を示した統計データにおいて、2004年以降に加盟した東欧などの国々の一人当たりの国内総生産は、以前からの加盟国であるドイツやフランスなどと比較して低い水準にあります。このような域内の経済的格差がもたらしている現象として、適切なものはどれですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. より高い賃金や雇用を求めて、東欧などの新規加盟国から西欧の国々へ労働者が移動している | 2. 経済水準が低い国を保護するため、EU加盟国間での農産物の貿易が全面的に禁止された | 3. 経済的格差を解消するため、EU内のすべての加盟国において公用語を一つに統合した | 4. 賃金の安い労働力を確保するため、西欧の高度な技術を持つ企業が東欧から一斉に撤退している |
|---|---|--|--|
- 問12 オランダは国土面積が小さいながらも、農産物の輸出額が世界有数の規模を誇っています。貿易統計において、1位の輸出相手国がドイツ、2位がベルギーといった隣接する諸国への取引が中心となっている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 偏西風や北大西洋海流の影響による寒冷な気候を理由に、近隣諸国から農作物の生産を委託されているため | 2. 欧州連合（EU）に加盟しており、加盟国間での関税がかからず、人・物・資本が自由に移動できるため | 3. 環太平洋パートナーシップ協定（TPP）の影響で、周辺のヨーロッパ諸国がアジアからの輸入を制限しているため | 4. アフリカや南アメリカなどの旧植民地との貿易が衰退し、地理的に近い国々との物づく交換を推奨しているため |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 広大な平原を利用して、大型機械を導入した大規模な畑作が行われているため。	フランスの小麦生産の強みは、その地形的条件にあります。国土に広がる広大な平原を活かし、大型の農業機械を導入して効率的に大規模な畑作を展開しているため、高い生産性を維持できています。これに対し、地中海沿岸ではオリーブやブドウ、オランダでは干拓地での園芸農業が特徴的であり、小麦の大規模生産とは異なります。
問2	答え 1 暖流である北大西洋海流の影響を受けた暖かい空気が、偏西風によって大陸に運ばれるため、緯度のわりに温暖になる。	ヨーロッパの気候において重要なのは「暖流」と「風」の相互作用です。北大西洋海流という暖流が海水の熱を北へ運び、その熱を偏西風が拾って大陸へと送り込むという因果関係を理解することが重要です。他の選択肢にある「寒流」や「季節風」、「黒潮」などは、ヨーロッパの気候を説明する要因としては誤りです。
問3	答え 3 火山が集中する地域の熱エネルギーを利用しており、二酸化炭素の排出が少ない再生可能エネルギーの一つである。	地熱発電は、火山の熱という自然界に存在するエネルギーを繰り返し利用するため、太陽光や風力などと同様に「再生可能エネルギー」に分類されます。アイスランドやイタリアのようにプレートの活動が活発な地域では、この自然の利点を活かして環境負荷の低い電力を得ることが可能です。他の選択肢にある水力、風力、太陽光も再生可能エネルギーですが、火山の分布と直接関係するのは地熱発電のみです。
問4	答え 3 北大西洋海流と偏西風	ヨーロッパ州の気候は、低緯度側から北上してくる暖流である北大西洋海流の影響を強く受けています。この暖流の上空にある暖かく湿った空気が、一年中西から東へと吹く恒常風である偏西風によってヨーロッパ大陸側へと運ばれるため、高緯度であっても冬の寒さが和らぎます。リマン海流や親潮は寒流であり、季節風は季節によって風向きが変わる風であるため、この地域の温暖さの主な要因とはなりません。
問5	答え 2 混合農業	ヨーロッパ北西部の比較的冷涼な気候に適した農業形態です。主食となる小麦やライ麦、あるいは家畜の飼料となる作物の栽培を行いながら、同時に豚や牛といった家畜を飼育することで、経営の安定を図っています。
問6	答え 4 フィヨルド	ノルウェーなどの高緯度地域では、過去の氷河期に厚い氷の塊（氷河）が重みで移動し、地表を深く削り取りました。この侵食作用によって形成されたU字型の谷に、後に出現した海水が浸入することで、非常に複雑で奥深い入り江が作られました。これに対し、リアス海岸は山地が沈水して形成されたものであり、形成のプロセスが異なります。
問7	答え 4 プレートの運動によって形成された比較的新しい山脈であり、高く鋭い山頂が連なっている。	アルプス山脈は「新期造山帯」に分類されます。これは、比較的新しい時代にプレートがぶつかり合うなどの地殻変動によって形成されたことを意味します。形成されてからの年月が浅いため、風雨による侵食がそれほど進んでおらず、鋭く険しい地形が維持されています。これに対し、石炭が豊富でなだらかなのは「古期造山帯」の特徴です。
問8	答え 3 加盟国間での産業発展の度合いや生活水準の格差が広がっており、その格差の是正が大きな課題となっている。	EUは東欧諸国などへ加盟国を拡大してきましたが、もともと経済力の高い西欧・北欧諸国と、経済発展の途上にある国々の間で、賃金や生活水準の格差が顕著になっています。この格差は、労働力の移動や経済支援のあり方をめぐる議論など、統合を維持する上での大きな障壁となっています。なお、共通通貨ユーロについては、デンマークのように導入していない加盟国も存在します。
問9	答え 1 域内からの移民の流入が急増したことへの不満や、自国の伝統や文化が損なわれることへの懸念	イギリスのEU離脱（ブレグジット）の背景には、主に3つの大きな要因がありました。一つ目は、EU域内の比較的所得の低い国から労働者が流入し、自国民の雇用が奪われるという「移民問題」です。二つ目は、EUの決定が自国の法律や政策に優先されることに対する主権回復の動きです。そして三つ目が、これらの変化によってイギリス独自の伝統や文化が失われてしまうという危機感です。共通通貨ユーロについては、イギリスは加盟中も導入せずポンドを維持していたため、離脱の直接的な「変更点」ではありません。
問10	答え 4 ヨーロッパ州	アルプス山脈やライン川はこの地域の自然環境を代表するものです。特に、国境を越えた統合を目指すEU（欧州連合）の発足や、共通通貨ユーロの導入といった動きは、ヨーロッパ州における現代社会の最も重要な特徴です。
問11	答え 1 より高い賃金や雇用を求めて、東欧などの新規加盟国から西欧の国々へ労働者が移動している	EU内では「人・物・資本・サービス」の移動が自由化されているため、経済的格差がある場合、労働者はより良い生活条件を求めて経済水準の高い国へと移動します。一方で、西欧の企業が安価な労働力を求めて東欧に工場を移転させる動きもあり、これらはEU内の経済的一体化を進める側面と、特定の国での失業や人手不足を招く課題の両面を持っています。
問12	答え 2 欧州連合（EU）に加盟しており、加盟国間での関税がかからず、人・物・資本が自由に移動できるため	オランダが世界有数の農業輸出を維持できている背景には、欧州連合（EU）の加盟国であることが大きく関係しています。EU域内では関税が撤廃されているため、輸送コストの低い隣接国のドイツやベルギーなどの巨大な市場へ、自国の効率的な農業で生産した製品を自由に販売することが可能です。統計上も、2000年代以降、輸出額・輸入額ともに大幅な増加傾向にあります。